

京都帝國大學文學部哲學科

卒業論文題目

(昭和二十一年九月)

哲 學

杉本道孝

ヘーゲルの國家觀

廣藤隆夫

ベルグソン哲學に於ける自由の問題

荒瀬庸雄

辯證法と同一律

山田宗睦

人間の救済と論理

元濱清海

構想力、判斷力、目的論
—實踐について—

田口寛治

カント哲學に於ける「自覚」の意義

辻村公一

ハイデッガーの時間論

山本吉信

個體存在の論理的構造

西洋哲學史

田中 洋

カントの圖式論に就いて
—純粹理性批判の研究—

心 理 學

守山滿樹

デイルタイの記述的分析的心理學に就いて

笹原尙民

現代心理學の理念

—所謂全體的行動の場に於ける力動論を廻つて—

倫 理 學

上野琢磨

育成の倫理

和田泰弘

最高善の研究

杉本新平

グリーンの倫理學

教 育 學

金子守勝

ルソーの「エミール」に於ける善の教育に關する考察

下畑達雄

聖徳太子の信仰思想と國民教育

佐藤睦夫

美學美術史

百中忠雄

中世宗教音樂史

橋本 眞

日本繪卷物に關する一考察

山下春夫

社會意識論

社 會 學

高橋紀郎

自殺理由

森 正夫

戰爭と文化

杉山茂樹

我が國に於ける地主と小作人との關係に就いて

Max Weber, Die Protestantische Ethik und der "Geist" des Kapitalismus. 2

就ての考察

支那の農村社會一考察

長田 信

藝術の社會性について

滑川裕弘